



ご案内

夏本番を迎え、まぶしい日差しに子どもたちの笑顔がはじけています。

保護者の皆さまにおかれましては、ますますご清祥にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、私たち教職員は『いきる つながる みちひらく ～自立と連帯・共生の学びと教育～』をメイン・テーマとして、日々子どもたちとともに歩みながら、教育実践にとりくんでいます。その成果を持ち寄り、さらに充実したとりくみにするために、「第68次しそく教育フェスティバル」を下記のとおり開催します。当日は市内の児童・生徒の作品展や子ども工作体験コーナーも開催されます。

教職員のみならず、保護者の皆さまや地域の方々とともに考え合う場になればと強く願っています。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

宍粟市教職員組合

執行委員長 鳥越 誠二

日 時： 8月25日(土) 8:30 開会

場 所： 一宮南中学校(分科会)

はりま一宮小学校体育館(全体会・講演会)

日 程： 8:00～8:20 受付

8:30～10:30 分科会

～ 移動 ～

10:40～10:55 全体会

10:55～12:25 講演会

12:25～12:30 閉 会

※ 当日は、駐車券・スリッパ・IDカードをご持参ください。

※ 駐車場 一宮南中学校グランド
はりま一宮小学校グランド

※ お知り合いの方もお誘い合わせの上、ご参加ください。(当日参加の受付もしております。)

※ 一宮南中グランドが満車になりしだい、はりま一宮小グランドに駐車していただきます。

子ども工作体験

楽しい工作体験。身近なものを使って、いろいろなものをつくりましょう!

場所：一宮南中学校 技術室

時間：8:30～12:30

対象：幼児・小学生・中学生

(30名程度)

※参加を希望される方は、7月20日(金)までに、各小中学校か宍粟教育会館にお申し込みください。(別紙参照)

宍粟教育会館【電話】62-0417

【FAX】62-8079

講演会について

講 師 **金 大竜(キム テリオン)さん**

～ 講師紹介 ～

1980年生まれ。大阪市小学校教員。周囲からは「ハッピー先生」と呼ばれている。教育サークル「教育会」代表。学級づくりにかかわるとりくみが、様々なメディアに取り上げられている。各地のセミナーで講師を務めるなど、教育についての考え方や実践方法などを広く伝え続けている。

【主な著書】

『日本一ハッピーなクラスの作り方』 明治図書出版

『ハッピー先生のおき授業レシピ』 明治図書出版

『子どもが教えてくれたクラスがうまいく魔法の習慣』 学陽書房 ほか

第68次しそく教育フェスティバル 分科会テーマ

分科会		発表分会	テ - マ	
1	日本語教育	神野小	自らの思いや考えを豊かに表現する力の育成 ～「ことばの力」を高める活動を通して～	
4	算数・数学教育	伊水小	統計教育を授業の中でどう生かしていくか	
6	美術教育	教育研究委員会 美術ほぐし部	遊びと学びと図工・美術教育	
9	保健・体育教育	山崎西中	リズムトレーニングを用いた授業	
		城下小	体育の授業におけるリズムジャンプのとりくみ	
13	人権教育	山崎小	豊かな人権感覚を持つ子の育成と 人権尊重の学校文化の創造	
		山崎西小	豊かな人権感覚を身につけ、 生き生きと自己表現できる子どもの育成 ～互いに関わり合い、支え合う仲間づくり～	
		一宮北小	子どもたち一人ひとりがエンパワーできる学校文化の創造 ～わかる、つながる学習活動を通して～	
14	インクルーシブ教育	特別支援部会	「生きる力」につながる授業づくり	
16	ジェンダー平等教育	女性部会	一人ひとりが輝く世の中へ	
17	環境・公害・食教育	はりま一宮小	地域が大好きな子どもを育む ～食育を通して～	
		波賀小	地域の特色をいかした食教育	
19	情報社会の教育と 文化活動	一宮南中	学校におけるICTの活用	
20	評価・選抜制度と 進路保障	中学校全分会参加		
22	学校・地域 における教育 改革運動	①	山崎南中 山崎南中地域	つながりの中で育む
			千種中	園小中高連携一貫教育のとりくみ ～千種を愛し、千種へ還る生徒の育成～
		河東小	子どもの成長を着実に引き継ぐ異校種間連携のとりくみ	
		②	山崎東中	これからの部活動
			都多小	ふるさとの人・もの・心に学ぶ ～都多っ子ふるさと学習～
			波賀小地域	地域との連携による国際交流事業
	小規模・ 少人数校の 教育	③	一宮北中	小中連携のとりくみの成果と課題
			波賀中	小集団学習の活用
			戸原小	一人ひとりの思いを大切にしながらつながる戸原っ子
			千種小	園小中高連携一貫がもたらす育み ～郷土を愛し、未来を切り拓く、心豊かな子どもの育成～
特Ⅲ	事務職員から見た 課題	事務職員部	「宍粟支部事務職員部のあゆみ」をもとに 組合活動を伝えていこう	
特Ⅳ	健康教育	養護教員部	子どもの命を守るために 危機管理意識や対応能力の向上を目指した職員研修のあり方を探る	